

■公共施設適正配置基本計画【第3期】の骨子（案）について

会議	意見	計画への反映など
第5回	①6 ページの対象施設の配置図について、助松地区の施設の情報に誤記があります。	<ul style="list-style-type: none"> 配置図を修正。
	②骨子（案）の中で、施設の統廃合の経過を詳細に示すというよりは、最終的な結果を示すものだと捉えるのであれば、このままの表現で問題ないと思います。一方で、複合化や統合について機能面も含めて示すとすると、施設どうしの関係性の表示が複雑になることが想定されますが、詳しく示すという視点から見るとやや物足りなさを感じる部分もあります。	<ul style="list-style-type: none"> 各施設の従前従後の形がより分かりやすいよう説明の追加を行った場合、文や表が増加してしまい、紙面が複雑化しまうため、現行の表現を維持することとしました。
	③旧図書館を公共施設の床として引続き活用されているのであれば、その点も記載しておく必要があると思います。図書館の機能は移転したものの、建物自体は防災倉庫（おづぼう）として活用されていることまで記載することで、跡地の扱いまで含めて事業が完了していることがより明確に理解できると考えます。	<ul style="list-style-type: none"> 4章 3-2（1）の本文に「なお、旧図書館は防災倉庫（おづぼう）として転用しました。」と記載。
	④56 ページの津波浸水想定区域への言及については、津波に限ったものではなく、想定される災害全体を踏まえて検討を進めていくといった表現に見直した方がよいと思いました。	<ul style="list-style-type: none"> 6章 2（3）の題名にある「津波浸水想定区域」を「津波浸水想定区域等」へ修正。また、本文に「あわせて、洪水、高潮、内水はん濫などの災害にも留意する必要があります。こうした点を踏まえ、」「防災・減災の観点から」を記載。
	⑤ <ul style="list-style-type: none"> 社会情勢や経済状況の変化においても言及しておいた方がよいと思いました。こうした先行きが見通しにくい時代においても、計画を着実に推進していくという説明につながると考えます。 年齢構成や市民ニーズの変化に応じて、建物自体はそのまま活用し、ソフト面を柔軟に転換していくという視点も必要だと考えます。 新たなニーズ等が生じた際には、その都度計画を見直し、関係者間で共有しながら進めていくことが重要であると考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> 6章 4 の本文に「また、近年の建築費や物価の高騰をはじめとする社会情勢等の変化は、施設の更新・整備に大きな影響を与えています。これらを踏まえ、各施設所管課は、個別施設の整備・更新の検討にあたり、OODA ループ※の考え方を取り入れ、現状や変化を的確に把握した上で、必要に応じて柔軟に整備・更新の見直しを行うものとします。（以下、省略）」を記載。